

予算委員会

北保育園の民営化に伴う施設改修について

平成26年度の当初予算では、平成27年4月からの北保育園の民営化に向けて、外壁の改修及び塗装、屋根の防水などの施設整備のために3,327万円が計上され可決されています。

ところが9月補正予算において、1,203万円の追加補正予算が提案され、当初予算と合わせ4,530万円に膨れ上がりました。この補正額は、当初予算の36%もの増額になっており、予算委員会では、まずこのことが問題になりました。

なぜ今になってこれほどの増額が必要になったのかという質問に理事者は、当初予算時には北保育園を引き継ぐ運営者が決まっておらず、今年度に入ってから決定した運営者との協議による追加の改修工事があったとの答弁でした。改修工事の要望は24項目で、そのうち改修実施予定箇所は17箇所とのことです。その内容は園舎2階外周のアルミ手すりの設置、駐車場の照明（2基）など、園児の安全性向上のための改修。冷暖房のエアコンへの変更や、露出配管による配線など、緊急性はないものの、今後の改修必要箇所やランニングコスト削減などに配慮した改修工事とのことです。

ではないか。民営化のためにこれ程の改修は必要なのか。新運営者側には負担はなく、すべて市の一般会計負担である。などの指摘もありましたが、園児の安全性向上や民営化によるサービス面の向上なども考慮しなければいけないとの意見もあり承認されました。

LED街路灯電気料金の地区負担について

勝山市では夜間における犯罪を防止し、市民の通行安全を図り、明るい安全で安心なまちづくりを推進するため、区で設置した公衆街路灯の電気料に対し、2分の1の補助金を交付しています。

9月補正予算では、この公衆街路灯電気料補助金が減額されており、これは照明部分に高輝度の発光ダイオード(LED)を使用した街路灯の普及が進んでいるためとのことです。LED街路灯は、従来の白熱電球タイプよりも消費電力が少なく環境負荷が小さいのが特徴で、電気代も約半額になるとのことです。現在、市内のLED街路灯普及率は、平成25年度では50%以上、平成26年度では60%を超える予定とのことです。委員会では、LED街路灯の普及により電気料補助金の負担も少なくなってきたことから、市内の「集落間」にある街路灯で、現在、区が電気料金を負担している箇所について、全額、市の負担にできないのかとの意見がありました。理事者からは平成27年度当初予算に向けて庁内でいろいろ検討したいとの答弁がありました。

建設産業委員会

今定例会の審議結果

今定例会では議案6件と請願2件について担当課より詳細な説明と意見を求め慎重に審査しました。審査の結果、議案6件は可決、請願2件については「不採択」としました。

また議会として「森林整備加速化・林業再生基金事業の継続を求める意見書」を関係省庁等に提出しました。

長尾山総合公園「かつやま恐竜の森」の再整備計画(案)について

年々増え続ける恐竜博物館への来館者に対応し、今後、公園利用者の利便性確保と安全性の向上を図るため、「かつやま恐竜の森」の再整備計画(案)が示されました。この事業は国交省の「都市再生整備計画事業」を活用し整備を進める予定で、平成27年度の事業採択を目指し国へ要望していくとのことです。

再整備計画(案)の内容は、アクセス道路の築造、駐車場の整備・増設、トイレ棟の増設、観光案内機能を持たせた休憩施設など総額8億5千万円(国2/5)。期間は平成27年から平成31年までの5カ年計画です。委員会では、現地調査を行うとともに計画の説明を受けました。委員からは、県との連携を求める意見や、繁忙期の交通渋滞解消についての意見が出され、今後も議論されていく

ことになりました。また、「かつやま恐竜の森」内に公園の資質向上につながる誘客効果のあるアミューズメント施設の誘致についても説明がありました。

(仮)勝山市おもてなし商業エリア創出事業の概要について

この事業の目的は、勝山市に來られる観光客のニーズに対応した飲食や土産品販売等の魅力ある店舗づくりを支援し、売上向上を図ることで観光産業の推進につなげるものです。事業の内容は、県が認定した区域内の店舗の新築・改築への助成。また(仮)おもてなし商業支援コーディネーターと(仮)観光産業プロデューサーを配置し支援を得ることとなっており、期間は平成26年度から平成28年度までの3カ年。その他、事業をバックアップするためのイベントも行うとのことです。

委員会では、商業エリアの拡大を求める意見や、観光産業を総合的にプロデュースできる優れた人材の確保を求めました。



現地調査「長尾山総合公園」